

## 令和7年度第1回久留米市地球温暖化対策協議会議事要旨

- 1 日時 令和8年2月10日 火曜日 10時00分開会 11時30分閉会
- 2 場所 久留米商工会議所2階202会議室
- 3 出席委員

島岡 隆行	一般財団法人九州環境管理協会 理事長(九州大学 名誉教授)
池鯉鮒 悟	久留米工業大学 建築・設備工学科 教授
藤原 佐保子	福岡県地球温暖化防止活動推進センター 主任研究員
高橋 和子	福岡県地球温暖化防止活動推進員
山村 公人	福岡県地球温暖化防止活動推進員
福嶋 芸郎	久留米商工会議所 会員サービス課 課長
高田 哲史	九州電力株式会社 久留米営業センター センター長
町田 康宏	久留米ガス株式会社 営業部 マネージャー
坂上 朋子	株式会社ブリヂストン 九州生産部門 総務部総務課 総務課長
大石 一紀	西鉄バス久留米株式会社 代表取締役社長
池田 彩	公募委員
柿原 紗千子	公募委員
楠井 聖梨	公募委員
野口 裕史	公募委員
野村 健治	公募委員
吉永 美佐子	公募委員
高口 美和	久留米市健康福祉部 保健所健康推進課 課長補佐
多々野 智子	久留米市小学校校長会 久留米市立安武小学校 校長
富田 渚	福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境課 主任技師

  

事務局	橋本 広昭	環境部 部長
	酒井 陽一	環境部 次長
	池田 剛	環境部 環境政策課 課長
	皆 協助	環境部 環境政策課 課長補佐
- 4 欠席委員

水田 翔子	久留米市農業協同組合 総務企画部 企画広報課
村田 潤一郎	福岡県トラック協会筑後支部 久留米分会長
高嶋 智久	久留米造園建設業協同組合 理事長
平原 吉康	久留米市校区まちづくり連絡協議会 理事
- 5 次第
  - 1 開会
  - 2 委員紹介
  - 3 正副会長の選出
  - 4 議題  
第四次久留米市環境基本計画原案について
  - 5 報告  
久留米市域から排出される温室効果ガスについて
  - 6 閉会
- 6 提出資料等 別紙のとおり
- 7 会議内容 別紙のとおり

## 1 開会

## 2 委員紹介

委員改選後初めての協議会であることから、事務局から委員を紹介。

## 3 正副会長の選出

事務局から、会長を島岡委員、副会長を吉永委員にお願いしたいと提案し、満場一致で両委員を選出。

## 4 議事

第四次久留米市環境基本計画原案について  
(皆環境政策課課長補佐説明)

委員 : エネルギーに対するCO<sub>2</sub>の排出係数ですが、世界共通でしょうか。日本のみの適用でしょうか。

事務局 : 環境省が示している係数で、これに基づいて久留米市でも算定を行っています。

委員 : 2028年から炭素賦課金が導入される予定になっていますが、重油を都市ガスに切り替える施策を推進してはどうでしょうか。

事務局 : ボイラー機器を重油からガスに切り替えて、CO<sub>2</sub>削減につながった事例の報告も受けています。事業者の切り替えのタイミングも考慮しつつ、情報提供に努めます。

委員 : 弊社では数年前から数件、工場等の燃料の都市ガスへの切り替え要望へ対応し、CO<sub>2</sub>削減に大きく貢献できました。また、カーボンニュートラルに関する社の目標の中でも、重油やプロパンガスを都市ガスに切り替えるという動きを意識しています。

委員 : 脱炭素社会の構築に関する成果指標ですが、排出原単位の指標を[挙げて掲げて](#)はどうでしょうか。また、松山市ではグリーン電力証書の市内での売買を行っているの、参考にしたいかがでしょうか。

事務局 : 具体的な成果指標は、環境基本計画の行動計画で整理します。グリーン電力証書の売買については、事業者側への情報提供を行っていきます。

委員 : 民生家庭部門の温室効果ガス排出量の削減がなかなか進んでいないが、具体的な取組内容を市民向けに情報提供することで、行動につながりやすくなると思いますがいかがでしょうか。

事務局 : 今後整備予定の「環境市民協議会・環境プラットフォーム」で話し合っていければと考えています。また、市ではエコ情報紙や動画でエコな取組やイベント情報を発信しており、実生活の中でどのように省エネに取り組みれば良いかを記載しています。

委員 : 「公共交通機関等への転換」について、バスの運転手不足や採算の問題もあり、便数が減少する傾向にあると思います。公共交通機関等に転換するには、市民が使いやすいようにする工夫が必要だと思いたすがいかがでしょうか。

事務局：移動手段に車が必須である方等、様々な立場の人のことを考えて施策を進める必要があると考えています。

委員：バスの乗務員不足については、労働賃金を上げながらバスの乗務員の声に対して積極的に対応していきたいと考えています。また、カーボンニュートラルは交通事業者として一番重要であると認識しており、バス車両のEVバスへの改造を計画的に行っています。EVバスは、航続距離の制約や車内空間が狭くなる等の課題もあるので、検討を重ねながら久留米にも導入していきたいと考えています。

委員：毎年堤防の掃除をしていますが、その際、二千年橋の下に野良猫がいて缶詰等のごみがたくさん落ちていました。看板等で啓発を行うようにできないでしょうか。

事務局：二千年橋の野良猫の情報について、保健所が情報を把握しているかもしれないので、相談してみます。

委員：猫の保護活動団体にもつながせていただき、また情報を共有したいと思います。

委員：脱炭素社会の構築の部分ですが、久留米市は平地だけではなく山地もあるので、CO<sub>2</sub>の吸収源対策として、森林整備等は方針として挙げなくても問題ないでしょうか。

事務局：計画では吸収源対策および自然保護の意味も含めて緑化推進を記載しております。吸収源対策も含めた具体的な森林保全については、行動計画の中で示すことができればと考えております。

委員：環境意識の高い人と低い人の乖離がどんどん広がっていくと思いますが、関心が低い人に対して関心を持ってもらえるような施策は考えられていますか。

事務局：まずはハードルが低い活動から始めることが重要だと思っております。イベントの開催やYouTubeへの動画のアップロードを通じて、市民の皆さんに意識してもらえるきっかけをつくれたらという思いで取組をしています。

委員：今回提示いただいた環境プラットフォームですが、今おっしゃったような取組も、含まれる予定ですか。

事務局：プラットフォームには環境の専門家や、環境に興味がある人だけではなくて、生活の視点からの取組等、様々なご意見をいただきたいと考えております。

## 5 報告

久留米市域から排出される温室効果ガスについて  
(4と併せて皆環境政策課課長補佐説明)

## 6 閉会

島岡会長：これで本日予定いたしました議事内容はすべて終了いたしました。これをもちまして令和7年度第1回久留米市地球温暖化対策協議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

以上